

TECHNOLOGY FARM TIMES

VOL.1

札幌に隣接する、北広島市に完成した「TECHNOLOGY FARM 西の里」。北海道農業を取り巻く環境の変化に対応できる力を生み出し、高めるためにつくられた、サングリングループの新たな施設です。今回は、その概要をお伝えします。



サングリングループの一員・北日本スカイテックは、産業用無人ヘリコプター、マルチローター、散布用ボートの点検整備、オペレーターの養成などを通じて、農業分野における小型無人機の活用をサポートしています。「TECHNOLOGY FARM 西の里」は、北日本スカイテックのサポート体制の強化と農業技術の研究開発のための施設として、2018年6月に完成しました。

基本情報

名称 **TECHNOLOGY FARM 西の里** (テクノロジーファーム西の里)

住所 北広島市西の里308-1

施設面積 3,175㎡ (1F:1,837㎡、2F:1,338㎡)

圃場面積 約2.86ha

フライト場面積 約1.5ha

●車の場合

札幌南ICから約10分

※新千歳空港から札幌南ICまで約30分

●公共交通機関の場合

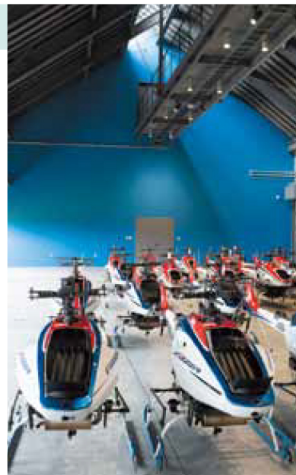
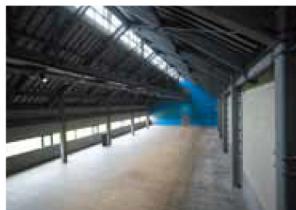
札幌市営地下鉄東西線大谷地駅からバスで約20分

※新千歳空港から大谷地駅までバスで約40分



POINT 1 国内最大級の整備・保管拠点

農作業の労力軽減に貢献する産業用無人航空機（ヘリコプター・マルチローター）のニーズはますます高まりを見せています。当施設は産業用無人航空機約200機の保管が可能な格納庫を有しています。整備場は格納庫に隣接。万全の機体メンテナンス・サポート体制を整えています。



POINT 2 専用のテストフライト場

敷地内に産業用無人航空機のテストフライト場を設置。メンテナンス後、速やかなテストフライトおよび機体チェックを行うことができます。産業用無人航空機は、近年緊急防除でも活躍しています。防除作業を適期に滞りなく進められるよう、一分一秒でも早く圃場へ送り出します。



POINT 3 広大な試験圃場

農業資材、種苗の研究は農業の発展に欠かすことのできないものです。敷地内の広大な試験圃場で、北海道の気候風土に適した作物の品種開発や、新たな農業資材、先進技術を利用した生産および検証を行っています。



拠点完成までの歩み

2014
5月 地元JA訪問。北日本スカイテックの事業内容などについて説明

7月 農業委員会と面談

11月 農業委員会による散布現場、北日本スカイテック江別サービスセンター視察

2015
10月 地元JAにて地権者と面談

2016
5月 農業委員会訪問。売買契約と住民説明会について説明を受ける

6月 西の里の生産者と面談。住民説明会や圃場管理などについて協力を依頼

10月 北広島市役所企画財政部都市計画課と面談*地権者の転居が完了

11月 平成町内会会長、役員に対して説明を行う*町内会の法人・学校その他施設等への説明を開始*農地法3条、5条に係る申請書を北広島市農業委員会へ届け出*北広島市農業委員会総会にて申請が承認される

12月 北海道へ提出する申請書類を届け出*都市計画法第43条による北広島市長名の許可証受領。農業委員会より農地法第3条による農業委員会会長名の許可証受領*農地法第5条許可書（北海道知事名）を受領。各種申請はすべて承認される*所有権移転手続完了。登記手続へ*北広島市長と地元JAへ所有権移転手続終了を報告

2017
1月 所有権移転に伴う登記書類一式を受領

5月 圃場の作付を始める（緑肥など）

6月 住宅・物置などの解体作業開始

9月 1日、工事請負契約書手交*14日、地鎮祭実施。着工



2018
6月 29日、竣工引き渡し

